平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	ゆとりある　みどり豊かな環境共生都市をめざして	施策コード	23210
政策名（章）	第3章　安全に暮らせる都市の実現をめざします	評価担当局	市民局
基本施策名（節名）	第2節　安心して暮らせるまちづくり	施策所管課	交通・地域安全課
施　策　名	交通事故のないまちづくり	課長名	大貫　雅巳

1　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

市民を交通事故から守るため、道路や交通安全施設の整備充実に努めるとともに、関係機関等との連携により、交通安全意識の高揚を図るなど、交通安全対策を推進する。
各施策の実施により、市内の交通事故件数は、平成12年をピークに減少に転じている。
また、本市の交通事故の特徴としては、自転車による交通事故の割合が高い状況にある。

2　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	353,141	43,141	
人件費	86,779		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	529	61	
合計	439,920	43,141	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

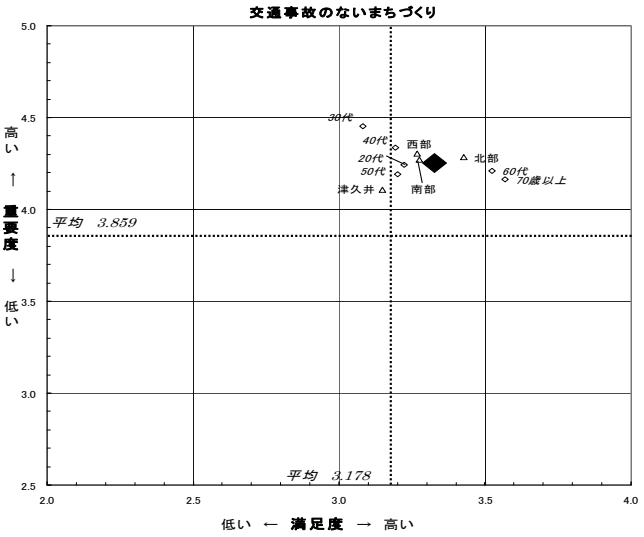
3　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標1	交通事故発生件数	交通事故発生件数（H17交通事故発生件数：5,388件）	基準値に対し、毎年5%の減を目標とする。
指標2	人口千人当たり交通事故発生件数	交通事故発生件数／人口×1,000（H17交通事故発生件数：5,388件／H17.1.1人口：697,586人）	指標1の交通事故発生件数に対応する人口1000人当たりの事故発生件数。
指標3	全事故に占める自転車事故率	自転車事故発生件数／全交通事故発生件数×100（H17自転車事故発生件数：1,620件／H17交通事故発生件数：5,388件）	神奈川県自転車事故多発地域の基準である全交通事故に占める自転車事故の割合25%未満を目標とする。
指標4	高齢者関係事故発生件数	高齢者関係事故件数（H17高齢者関係交通事故発生件数：921件）	基準値に対し、毎年5%の減を目標とする。
指標5	高齢者人口1万人当たり事故発生件数	高齢者関係事故件数÷高齢者人口×10,000（H17高齢者関係交通事故発生件数：921件／H17.1.1高齢者人口：99,469人）	指標4の高齢者関係事故発生件数に対応する人口10000人当たりの事故発生件数。

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標1（単位：件）	H17	5,388	4,862	4,741	4,618		4,387		4,167	
事業費／人員										
指標2（単位：件）	H17	7.7	7.0	6.7	6.6		6.3		6.0	
事業費／人員										
指標3（単位：件）	H17	30.1	26.7	32.1	25.8		24.9		24.0	
事業費／人員										
指標4（単位：件）	H17	921	830	987	788		748		710	
事業費／人員										
指標5（単位：件）	H17	92.6	83.4	94.2	79.2		75.2		71.4	
事業費／人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は3.327で121施策の中で23番目。
〇重要度は4.254で13番目である。
〇改善要望度は0.1736で28番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、30代で最も低くなっている。重要度は30代で最も高く、70歳以上で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	4 (2) 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	(4) 2 1	4 (2) 1	
合計		6	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	自転車事故と高齢者の事故は、県内でも割合が高く、市民総ぐるみで取り組む必要がある。このため、安全・安心まちづくり推進協議会を中心に全市的な啓発活動等を実施するとともに、地域住民が日ごろから交通安全及び防犯活動を身近なものとして取り組む意識づくりを図る必要がある。
解決策	地域にある安全・安心まちづくり推進協議会の支部を中心に、自治会をはじめ地域の関係団体と連携し、地域に根ざした活動を通じ、安全で、安心して過ごすことができるまちづくり活動の推進に努める。また、交通・安全教室の実施により、児童・生徒や高齢者に対して積極的な事業展開を行う。

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

客観的に成果を測定できる指標設定を行う必要がある。 ⇒指標2「人口千人当たり交通事故発生件数」と指標5「高齢者人口1万人当たり事故発生件数」を復活し、追加した。	2次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

	3次評価 A

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

交通事故のないまちづくり

コード	23210

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
~~交通・地域安全課~~	~~安全・安心まちづくり推進協議会補助金（再掲）~~					1	1.20	6,242	15,902
交通・地域安全課	交通安全教室経費	10,849	11,992	11,992	1	2	0.15	11,391	12,599
学務課	学童通学安全指導員経費	21,194	26,300	26,300	1	3	0.18	17,233	18,682
交通・地域安全課	違法駐車等防止啓発費	3,934	3,510	2,000		5	0.20	7,119	8,729
交通・地域安全課	交通安全思想普及啓発費（その他啓発費）	750	759	759	1	6	0.20	679	2,289
交通・地域安全課	交通安全協会補助金	1,990	1,990	1,990	1	7	0.01	1,790	1,871
~~公園課~~	~~鹿沼児童交通公園管理運営費~~					4	0.20	8,382	9,992
~~道路補修課~~	~~交通安全施設整備事業~~					再掲	3.00	127,223	151,373
~~南土木事務所~~	~~市道南大野歩道整備事業（再掲）~~					再掲	0.10	28,189	28,994
~~南土木事務所~~	~~交通安全施設整備事業（再掲）~~					再掲	1.00	61,570	69,620
~~道路整備課~~	~~JR横浜線小山踏切改良関連事業（再掲）~~					再掲	3.00	75,964	100,114
~~道路補修課~~	~~道路点検パトロール経費~~					再掲	0.10	696	1,501
~~道路管理課~~	~~路上放置自動車等撤去委託（再掲）~~					再掲	1.44	6,663	18,255
城山町地域自治区事務所	交通安全思想普及啓発費（その他啓発費）	2,269	2,364	0					0
津久井町地域自治区事務所	交通安全思想普及啓発費（その他啓発費）	192	145	145					0
藤野町地域自治区事務所	交通安全思想普及啓発費（その他啓発費）	1,963	29	29	1				0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		43,141	47,089	43,215			10.78	353,141	439,920